

田原活性化対策本部の活動報告

令和2年3月
四條畷市 田原支所

第1章 田原地域の概要について

1 位置等	1
2 年齢構成の増減	1
3 周辺の商業施設	1
4 交通	2
1) コミュニティバス	
2) 路線バス	

第2章 田原地域の活性化に向けて

1 庁内組織による検討	3
2 田原活性化検討委員会の会議概要	4
3 窓口サービスに関するアンケート調査	5
4 「日々の暮らしのアンケート」調査	5
5 地域・団体との意見交換	7

第3章 田原活性化対策本部の設立に向けて

1 設立に向けた準備	8
2 委員の募集	8
3 田原活性化対策本部会議	
1) 組織図及び委員構成等	9
2) 田原活性化対策本部会議の概要	10
第1回会議	11
第2回会議	12
第3回会議	12
第1回 先進地域の視察	12
第4回会議	13
第2回 先進地域の視察	13
第5回会議	14
第3回 先進地域の視察	14
第6回会議	15
第7回会議	16
第8回会議	17
3) 地域（市民）が主体となった「まちづくり」の提言	
①配食サービス、レストラン運営	17
②緑豊かな田原を楽しむ	18
③楽しいイベント体験健康づくり	19
4 これまでの成果	21

第4章 任期終了後の取り組み

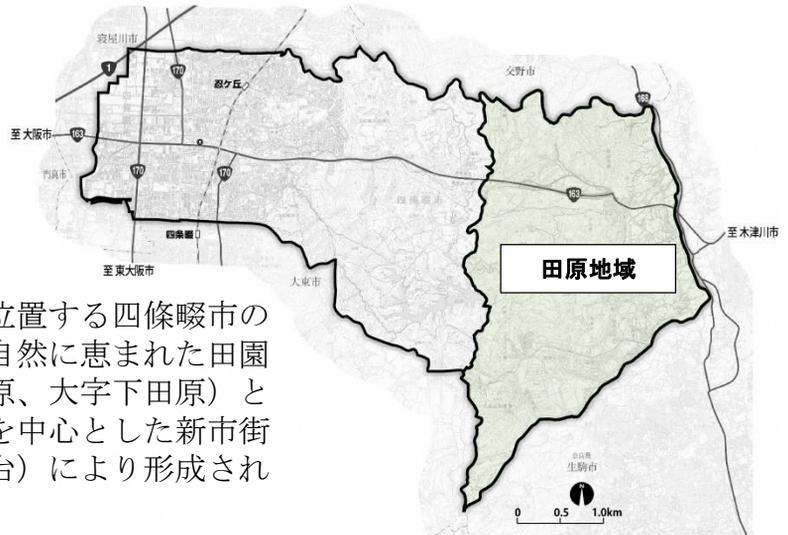
1 地域に根ざした様々な取り組み	25
2 スマートシティへの取り組み	26

終わりに

参考資料

第1章 田原地域の概要について

四條畷市



1 位置等

田原地域は、大阪の北東部に位置する四條畷市の東部に位置しています。豊かな自然に恵まれた田園風景の残る既存集落（大字上田原、大字下田原）と平成2年に街びらきした田原台を中心とした新市街地（田原台、さつきヶ丘、緑風台）により形成されている。

2 年齢構成の増減

平成29年9月末時点、四條畷市の人口55,806人の約16%の人が田原地域に在住し、平成24年3月末現在と比較すると年少人口、生産年齢人口は減少する一方、65歳以上の高齢者人口は増加している。

(人)

	平成24年3月	平成29年9月	差分
0～14歳	1,799	1,413	△386
15～64歳	6,045	5,660	△385
65歳以上	1,421	1,943	+522
計	9,265	9,016	△249
男	4,543	4,423	△120
女	4,722	4,593	△129

3 周辺の商業施設

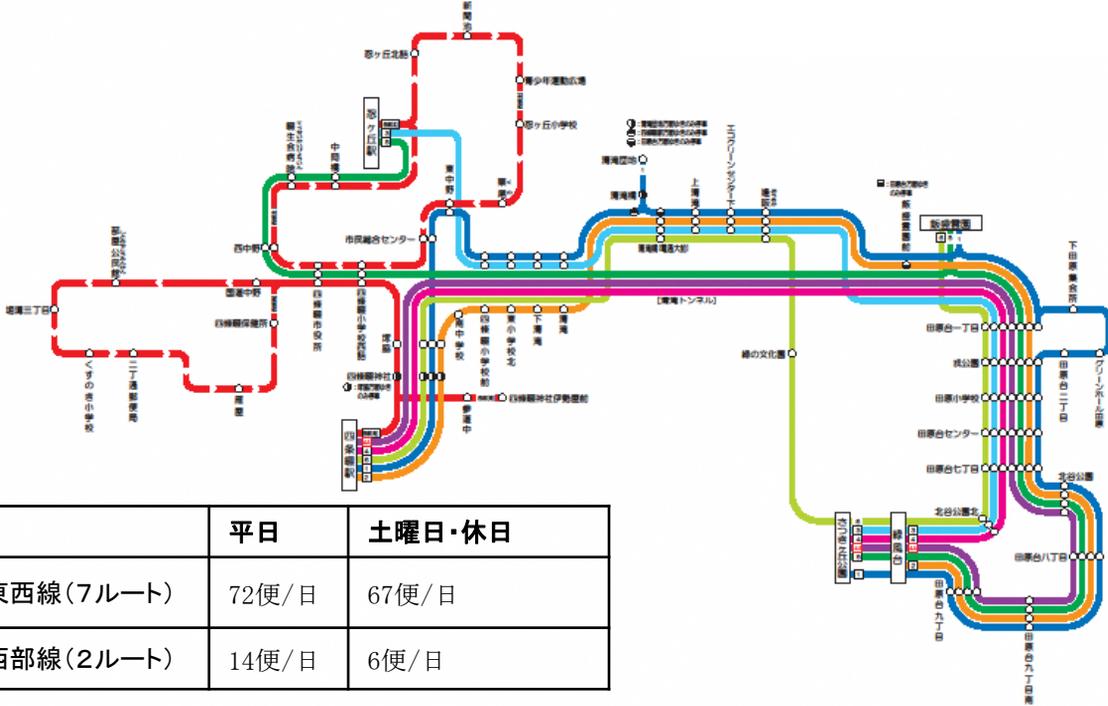
田原管内には、食料品、日用品を販売しているドラッグストアとコンビニエンスストアなど商業施設が3店舗ある。田原台を中心にスーパーマーケットは、2km内外に複数ある。

4 交通

1) コミュニティバス

コミュニティバス（東西線）は、田原1ルート、2ルート、3ルート、4ルート、4Aルート、5ルート、6ルートの合計7ルートで運行。

平日は、さつきヶ丘公園・緑風台発、四条畷駅・忍ヶ丘駅行きが36本あり、その内快速が17本となっている。 四条畷駅・忍ヶ丘駅発、田原管内行きが同じく36本、その内、快速が16本となっている。



	平日	土曜日・休日
東西線(7ルート)	72便/日	67便/日
西部線(2ルート)	14便/日	6便/日

田原1ルート	四条畷駅～（清滝団地、飯盛霊園、下田原集会所、田原台九丁目）～さつきヶ丘公園
田原2ルート	四条畷駅～（上清滝、飯盛霊園前、北谷公園）～緑風台
田原3ルート	忍ヶ丘駅～（上清滝、北谷公園北）～さつきヶ丘公園
田原4ルート	四条畷駅～（【清滝トンネル】、北谷公園北）～さつきヶ丘公園
田原4Aルート	四条畷駅～（【清滝トンネル】、北谷公園）～さつきヶ丘公園
田原5ルート	忍ヶ丘駅～（畷生会病院、【清滝トンネル】、北谷公園）～さつきヶ丘公園
田原6ルート	四条畷駅～（緑の文化園、さつきヶ丘公園、田原台七丁目）～飯盛霊園

2) 路線バス

四條畷市の路線バスは「京阪バス」「近鉄バス」「奈良交通」が運行している。うち、田原管内で「京阪バス」「奈良交通」が運行している。

		平日	土曜日・休日
奈良交通	田原台一丁目～（田原台九丁目）～近鉄生駒駅北口	176便/日	149便/日
京阪バス	田原台一丁目～星のブランコ～京阪交野市駅	0便/日	2便/日

第2章 田原地域の活性化に向けて

平成29年2月から田原支所の業務改善、市民と行政の協働のまちづくり、及び、地域特性を活かし、まちの魅力創出に結びつく施策を段階ごとに推進するため、次の取組みを開始した。

1 庁内組織による検討

田原地域の快適、安心、穏やかに過ごすことの出来る環境づくり及び、他団体の先進事例を参考に、独自性に富んだまちづくりの推進を検討するため、関係する課で田原活性化検討委員会を設立。

田原活性化検討委員（平成29年2月時点）

理事（田原活性化担当）、田原支所長、田原支所課長、企画調整課長、地域協働課長、産業観光課長、都市計画課長、子ども政策課長、高齢福祉課長、地域教育課長

2 田原活性化検討委員会の会議概要

回	開催日	議 題
第1回	平成29年 2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針について ・ニーズ調査について
第2回	平成29年 3月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原地域主要施設の確認
第3回	平成29年 4月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口アンケートについて ・日々の暮らしのアンケートについて ・地域懇談会について ・田原通信（仮称）について
第4回	平成29年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口アンケートの結果について ・地域懇談会について ・田原通信（仮称）について
第5回	平成29年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会について ・たわら通信について
第6回	平成29年 7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会について ・地域活性化の具体的な施策について ・活性化対策本部について
第7回	平成29年 8月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化施策にかかる委員からの提案内容について ・地域懇談会について
第8回	平成29年 9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原活性化対策本部について ・第1回地域懇談会を終えて
第9回	平成29年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原活性化対策本部委員の募集結果について ・たわら通信（第2号）について
第10回	平成30年 2月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原活性化対策本部会議の状況報告について ・平成30年度予算内示の状況について ・平成30年度におけるスケジュール（案）について
第11回	平成30年 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原活性化対策本部会議の状況報告について ・行政視察の選定結果について
第12回	平成30年 9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・田原活性化対策本部会議の状況報告について ・行政視察（オガールプロジェクト）について
第13回	平成30年12月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・オガールプロジェクト視察報告について ・田原活性化対策本部の現状報告について
第14回	平成31年 1月 9日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の状況について ・提案型イベントの開催状況について ・第7回の本部会議の開催状況報告 ・第8回の本部会議の予定 ・平成31年度の田原活性化の方向性について ・提案を受けてのサポート及びプラトホームの役割 ・半歩先のまちづくりに向けて
第15回	平成31年 4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度の体制について ・スマートシティモデル事業公募について

3 窓口サービスに関するアンケート調査

全庁的に年1回実施してきた窓口サービスに関するアンケートに加え、田原支所における行政サービスの充実と窓口サービスの向上をめざし、田原支所に来庁された人の感想やご要望をお聞きするため、平成29年から毎年3月中旬から4月中旬にかけて田原支所の窓口サービスに関するアンケート調査を実施した。（詳細については参考資料に掲載）

調査結果

	あいさつ	言葉づかい	身だしなみ	説明の仕方	所要時間	窓口の印象
平成29年	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
平成30年	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4
平成31年	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2

（配点方法）「良い」を5点、「やや良い」を4点、「普通」を3点、「やや悪い」を2点、「悪い」を1点とし、項目ごとに評価を換算して集計

4 「日々の暮らしのアンケート」調査

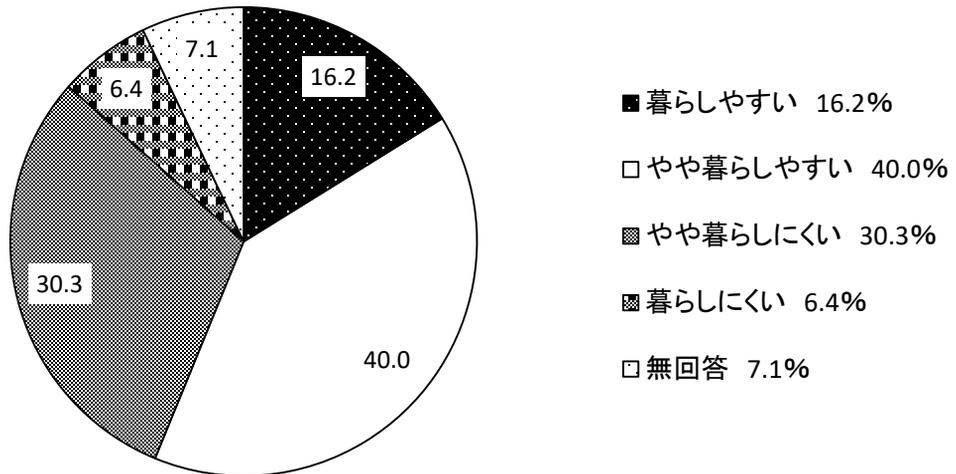
田原地域の活性化を推進していくにあたり、地域に対する意識や関わりなどを調査し、田原地域の活性化の基礎資料とすることを趣旨に「日々の暮らしのアンケート調査」を実施した。

調査名	「日々の暮らしのアンケート」
対象地区	大字上田原、大字下田原、田原台、さつきヶ丘、緑風台
調査期間	平成29年5月1日から平成29年6月20日まで
配布方法	田原地域の区長、自治会長の協力を得て全世帯に配布
回収方法	各区、自治会単位で回収
配布数	3,342件 回答数：1,261件（回答率37.7%）
調査項目	回答者の属性、田原地域について、地域活動について、普段の買い物に関して、普段の移動方法、地域の将来について、自由意見

「日々の暮らしのアンケート」調査結果の概要 (詳細については参考資料に掲載)

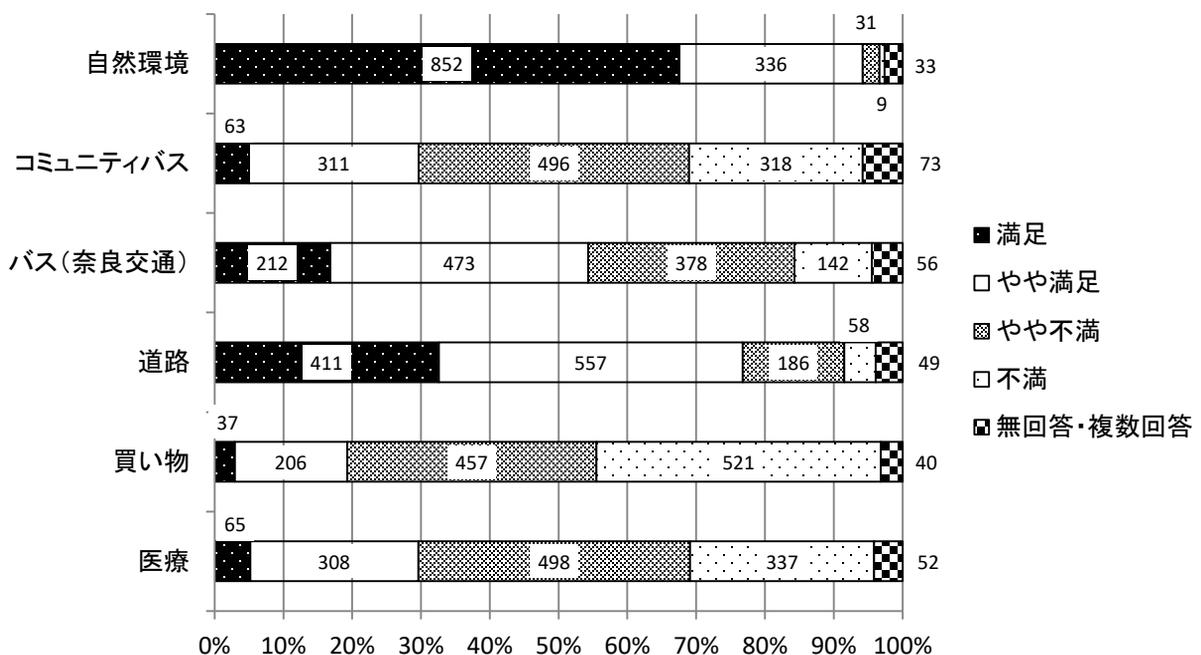
暮らしやすさについて

地域別では、「暮らしやすい」と回答した比率が最も多かったのは上田原地区、「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」と回答した比率が高かったのは、田原台六～九丁目、年齢別では、「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」の回答は、60代が最も多い結果となった。



田原地域の生活環境の満足度について

生活環境の項目で「満足」、「やや満足」の回答が多かった項目は、「自然環境」、「道路」、「バス(奈良交通)」の順となった一方で「不満」の回答が41.3%と最も多かった項目は「買い物」、次に「医療」、「コミュニティバス」の順の結果となった。



5 地域・団体との意見交換

地域の行政に対する疑問やお困りごとを、田原活性化検討委員が直接地域に出向き、地域の抱える課題を確認し、課題解決に向け意見交換を行った。

地域懇談会

場所	実施日	主な意見交換の内容	参加人数
上田原区 公民館	平成29年6月24日	ゴミの不法投棄、ゲートボール場の草刈り、住居表示、田原支所業務、不燃小物回収ボックス、道路整備、コミュニティバス、まちの魅力づくりなどに関する事。	18
緑風台 集会所	平成29年6月25日	ゴミの収集車の音量、災害用トイレ、コミュニティバス、空き地の適正管理、遊水池の管理、忍ヶ丘駅前整備、総合体育館、企業誘致、市民体育祭、四條畷市のPRなどに関する事。	21
下田原区 集会所	平成29年6月27日	防犯カメラ、グリーンホール田原、ごみ処理施設、斎場、地域の活性化、地域特性を活かした施設誘致、教育水準の向上などに関する事。	9
戎ホール	平成29年8月19日	旧163号線の二輪車の通行規制、空家、公園の管理、防犯カメラ、コミュニティバス、地域の活性化などに関する事。	19
北谷公園 管理棟	平成29年8月19日	郵便局ATM、信号機やカーブミラーの設置、公園やバス停の照明、バス停に椅子の設置、体育施設の予約、保育所などに関する事。	21
さつきヶ 丘集会所	平成29年8月30日	自治会運営、イベントでの駐車場の確保、市民体育祭、買い物、交通、医療、ハイキング道の整備、田原地域の活性化などに関する事。	6

地域団体との意見交換会

地域団体	実施日	参加人数
民生・児童委員	平成29年7月24日	14
子育て支援団体 「子育てサロン・カンガルーホップ」	平成29年9月7日	19
地域コミュニティ団体 「わたしのいえ・ほっこり」	平成29年10月24日	12

第3章 田原活性化対策本部の設立に向けて

1 設立に向けた準備

田原地域の快適、安心、穏やかに過ごすことができる環境づくり、及び、他団体の先進事例を参考に独自性にとんだまちづくりを、田原地域から推進していくことを目的に、市長を本部長とする田原活性化対策本部の設立を平成29年から検討。

本部委員の募集にあたっては、田原地域でボランティア、福祉、文化活動などに従事されている人、田原地域の事業所に勤務されている人で事業所からの推薦のある方を公募した。

2 委員の募集

募集のねらい： 地域と行政で取り組んでいく「田原活性化対策本部」を設置し、会議等へ積極的に参加しまちづくりを一緒に考えていく本部委員を募集

募集人数：10人程度

任期：委嘱日から平成31年3月31日まで

募集資格： ①18歳以上で田原地域在住・在勤・在学の人
②平成29年現在、田原地域でボランティア活動・社会福祉活動・文化活動などの地域活動に従事されている方、又は、田原地域の事業所に勤務しており事業所からの推薦がある人

募集期間：平成29年9月15日から平成29年10月16日まで

たわら通信

2017年9月15日
田原支所 発行

号外

田原活性化対策本部委員を募集します！

1. 募集のねらい
田原地域を快適、安心、穏やかに過ごすことができる環境にしておくため、地域と行政で取り組んでいく「田原活性化対策本部」を設置します。
そこで、会議等へ積極的に参加し、他団体の先進事例を参考にした独自性にとんだまちづくりを一緒に考えていただく本部委員を募集します。
2. 募集の人数 10人程度
3. 委員の任期 委員委嘱の日から平成31年3月31日まで
4. 会議開催予定 年4～6回程度
5. 応募資格
次の要件をすべて満たす方
(1) 18歳以上で、田原地域在住・在勤・在学の方
(2) 平成29年度現在、田原地域でボランティア活動・社会福祉活動・文化活動などの地域活動に従事されている方、又は、田原地域の事業所に勤務しており事業所からの推薦のある方
6. 応募方法
「田原活性化対策本部委員申込書」又は「田原活性化対策本部委員推薦書」に必要事項を明記のうえ、田原支所まで持参または郵送で提出。募集要項は田原支所にて配布いたします。
7. 応募締切 平成29年10月16日(月)
8. 選考方法
応募多数の場合は、活動団体等の活動分野、地域性、年齢等を考慮し選考します。
9. その他
会議等の出席に対する報酬はありません。

問い合わせ・申込書提出先

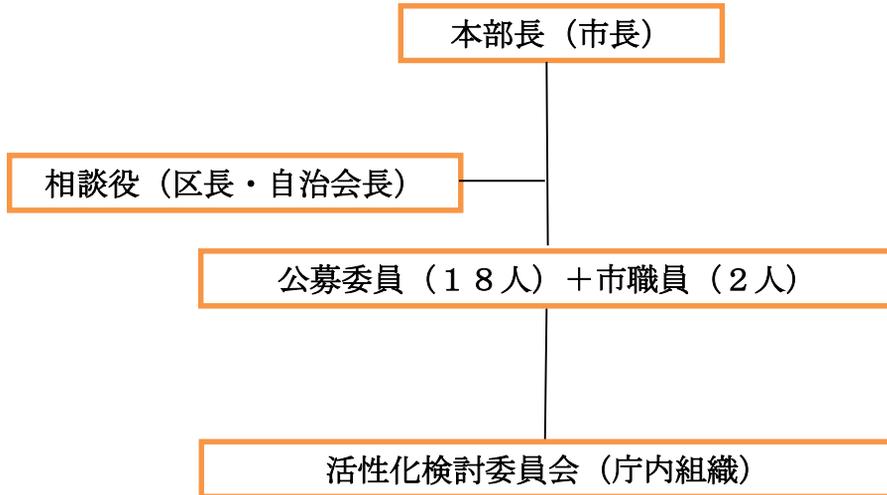
〒575-0014 西條町市大字上田原1番地 田原支所
(0743) 78-0175

告知方法

市広報誌、ホームページへの掲載
コミュニティバスの車内広告
田原管内全戸にたわら通信号外を配布
(3,230部)

3 田原活性化対策本部会議

1) 組織図及び委員構成等



田原活性化対策本部委員 (敬称略)

本部長：東 修平 (四條畷市長)

公募委員 (50音順)

旭 恵美里 (民生委員・主任児童委員)
岩城 令子 (田原台・さつきヶ丘地区福祉委員会)
大橋 秀樹 (田原台防犯委員会)
奥田 進久 (NPO法人桃源郷のさと)
奥村 博 (NPO法人桃源郷のさと)
相良 佐知子 (わたしのいえ・ほっこり)
谷 秀夫 (NPO法人桃源郷のさと)
内藤 壽 (民生委員)
中西 洋右 (田原・天野川を美しくする会)
西川 益美 (食器あるある市会)
平松 茂 (消防団下田原分団)
寶谷 敏男 (田原ライフセーバーズ)
前原 園代 (医療法人和幸会・パークヒルズ田原苑)
南佐 幸子 (わたしのいえ・ほっこり)
森川 陽子 (民生委員)
森田 祥彦 (消防団上田原分団)
安田 成弘 (アーバン不動産投資 (株))
山本 敏秀 (田原の明日を拓く会)

四條畷市職員

笹田 耕司 (田原支所長)
開 康成 (理事 (田原活性化担当)) H30.03まで
塩見 一郎 (田原支所主任) H30.4から

2) 田原活性化対策本部の会議概要

回	開催日	議 題
第 1 回	平成29年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・データでみる田原地域の現状について
第 2 回	平成30年1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・予算措置の必要な短期的課題の抽出について ・グループ討議、発表 ・意見交換
第 3 回	平成30年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度予算措置について 予算概要 市民提案型イベントのルールづくり (内容、審査基準等) ・中長期的課題について 課題の優先及び視察先の選定
視察	平成30年5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府相楽郡南山城村、京都府木津川市
第 4 回	平成30年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・南山城村、木津川市の行政視察をふまえた意見交換について（持続可能な公共交通に向けて）
視察	平成30年7月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府堺市南区槇塚台
第 5 回	平成30年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・南山城村、泉北ニュータウンの行政視察を踏まえた意見交換について
視察	平成30年10月 9日～10日	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県紫波郡紫波町
第 6 回	平成30年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・視察報告（岩手県紫波町 オガールプロジェクト） ・地域（市民）が主体となったまちづくりの提言にむけて
第 7 回	平成30年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の取り組みについて ・公募型協働のまちづくり 提案型補助金の概要説明 ・地域（市民）が主体となった「まちづくり」の提言にむけて
第 8 回	平成31年3月25日	～地域が主体となったまちづくりの報告～

第1回会議（平成29年11月21日）

各委員が地域資源の利活用、イベントの発信、地域のブランド化に関する考え方を発表した。また「日々の暮らしのアンケート調査結果」等の意見を踏まえ行政内部で実施したものの報告と併せ、平成30年度の予算編成に合わせ短期課題を第2回会議で議論することが確認された。



第1回
田原活性化対策本部会議



田原活性化対策本部委員

第2回会議（平成30年1月11日）

平成30年度に予算措置をする必要のある課題を中心に議論を行った。短期的なものとして、樹木の適正管理。地域のイベント活動団体の周知手法や情報発信の強化の必要性が発表された。中長期的な課題としては、コミュニティバスの充実、防犯の強化などが発表された。

第3回会議（平成30年3月28日）

行政職員から平成30年度に予算措置した内容の報告の後、市民提案型イベントのルールづくりについて議論がなされ、2つ以上の異なった目的をもつイベントを行い世代間交流の促進や個人申請を可能にするなどの制度設計に関する意見が出された。

その後、中長期課題となる「買い物」「交通」「医療」の課題解決に向け、持続可能なまちづくりを進めるため、視察先の選定に向け候補地の意見交換を行った。

意見交換を踏まえ「地域が主体となったまちづくり」を実践されている視察先が決定された。

第1回 先進地域の視察

京都府相楽郡南山城村、京都府木津川市（平成30年5月14日）

南山城村では、地域特性・地域資源を活かしたまちづくりや「村に必要なことは、村人が取り組む」地域内循環型産業システムの導入など、地方創生の成功事例としても取り上げられている。また、京都府主導のもと前年度に実施された地域ニーズに即した複合型輸送サービスの試行実施が行われている。

木津川市では、地域特性に応じた市民が使いやすく、満足度の高い地域公共交通づくりを市民との対話を重視して行われている。



視察参加者



木津川市役所での研修

第4回会議（平成30年5月24日）

行政職員から公共施設巡回バスからコミュニティバスへの変遷及び、四條畷市地域公共交通計画（素案）について説明があった。

その後、5月14日に視察した南山城村・木津川市の公共交通について視察先で学んだ内容を元に議論がなされ、まとめられた内容が7月12日に地域公共交通会議事務局宛に「持続可能な公共交通に向けての提言書」（詳細は資料集に掲載）として提出された。



「持続可能な公共交通に向けての提言書」の提出

第2回 先進地域の視察

大阪府堺市泉北ニュータウン（平成30年7月3日）

開発当初に入居した年齢層が高齢化し、その子ども世代が街を離れ地域の人口減少が進んでいる。その中で地域自治会やNPOが中心となり時代に合わせた街として再生する取り組みが行われている。

泉北ほっとけないネットワーク



槇塚台レストランでの研修



視察参加者

第5回会議（平成30年7月26日）

5月14日に視察した南山城村と7月3日に視察した泉北ニュータウン（槇塚台）で学んだ内容を元に議論を行った。

地域主体のまちづくりに向け、「配食サービス、レストランの運営」、「人が集える場所づくり」、「住民同士が関われる楽しいイベント」、「リーダーづくりの必要性」、「空き地、空き家の活用」、「イベントのプラットフォーム化」、「若いも若きもルンルン気分のまちづくり」、「緑豊かな田原を楽しむ」など多くのテーマが出され活発な議論がなされた。

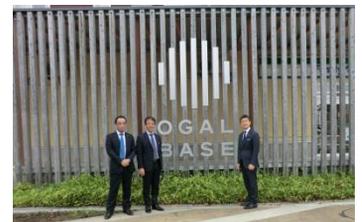
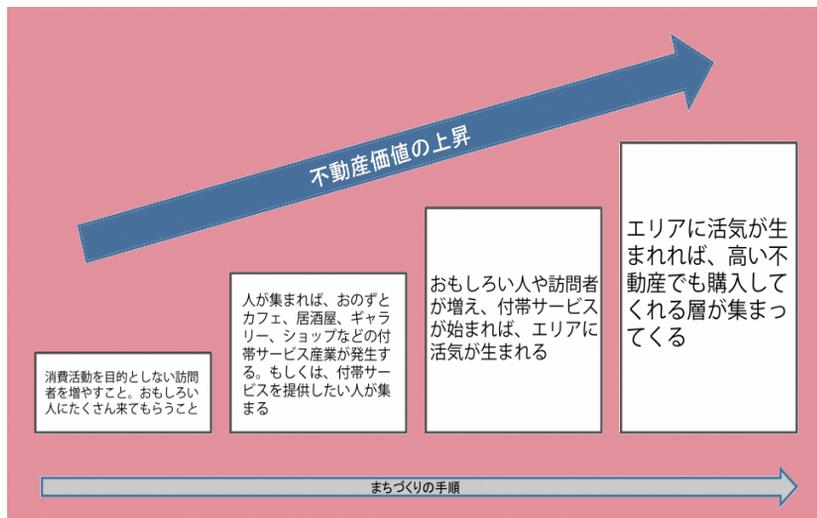
また、公金を使わず町を活性化させた岩手県紫波郡紫波町の行政視察を行うことの報告がなされた。



第3回 先進地域の視察

岩手県紫波町 オガールプロジェクト行政視察（平成30年10月9日～10日）

紫波町は、駅前の塩漬けとなった10.7haの町有地を住民や民間企業の意見を取り入れ、補助金に頼らない手法による「まちづくり」を進め、地域の活性化の成功事例として全国から注目されている。



オガールプロジェクト「まちづくり」の手順
オガールプラザ（株）岡崎正信代表が作成した図

オガールプラザ

第6回会議（平成30年10月30日）

前回の会議で、配食サービスを実施する場合の用途と兼ね合いと、センタープラザ用地の用途制限について、用途地域や建ぺい率・容積率、市街化調整区域に関する質疑を都市計画課の職員を交え行った。次に、職員から岩手県紫波郡紫波町 オガールプロジェクトの行政視察について、地域活性化ポイントとして人が集まり、地域に賑わいが生まれると地域が活性化する、まちづくりの手順についての報告がなされた。

その後、第5回で議論された地域（市民）が主体となったまちづくりに向け、「配食サービス、レストランの運営」、「楽しいイベント体験、健康づくり」、「緑豊かな田原を楽しむ」にテーマを絞り具現化に向けた議論がなされた。



用途制限についての説明



オガールプロジェクト視察報告

地域（市民）が主体となった「まちづくり」に向けた議論



第7回会議（平成30年12月17日）

林副市長から、5W1Hの視点（Why(いつ)、Whom(誰に対して)、Where(どのエリアで)、Who(誰が)、What(何をしていくのか)、How(どうやって)) でまちづくりをなされている事例が紹介された。

その後、3月25日の地域（市民）が主体となった「まちづくり」の提言に向け議論を深めた。



案内状
田原活性化対策本部

第8回田原活性化対策本部会議（最終回）にて、地域が主体となったまちづくりのアイデアを私たちが発表します。

ぜひ傍聴にお越しください

私たちの思いが今後の田原活性化につながればと願い、より多くの方にお話し頂きたく皆様どうぞお繰り合わせの上、ぜひご来場ください。

とき 平成31年3月25日（月）
時間 午後7時から
会場 グリーンホール田原1階 なるなるホール
田原活性化対策本部委員
[]

連絡先：0743-78-0175（田原支所 事務局）

3月25日の地域が主体のまちづくりの発表に向け、地域への開催案内ポスター及びフライヤーの配布。各委員から案内状の送付を行った。

印刷部数

葉書：400枚、ポスター：50枚、フライヤー300枚

第8回会議（平成31年3月25日）

最終回の対策本部会議では、田原活性化への思いを含め「地域が主体となったまちづくり」のアイデアを対策本部委員が3班に分かれて地域住民に対し発表を行った。また、各班の発表内容を本市職員が聞き取り未来予想図を描き、ポストカードにして参加者へ配布した。（参加者86人）

3 地域（市民）が主体となった「まちづくり」の提言

①配食サービス、レストラン運営(岩城令子、南佐幸子)

田原地域では、核家族化や少子高齢化が加速し、子育てママは家族以外の誰とも話さない、お隣がどんな人がわからないなど、孤立しやすい状況です。

昔あった地域のお寺や小学校の校庭開放はなくなり公園や公民館などのコミュニティスペースは利用しにくいのが現状です。

心の拠りどころや繋がりが持てる「交流・憩いの場」を田原に作ります。



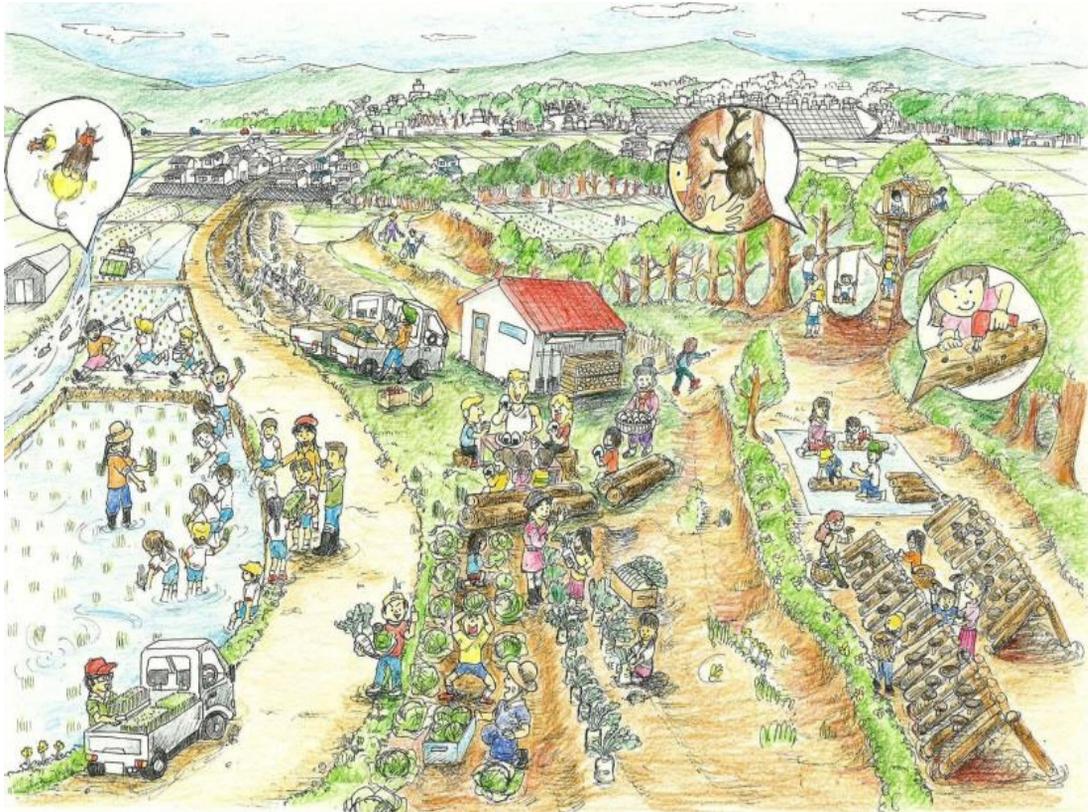
どなたでも出来る調理や子どもと一緒に遊ぶ等のお手伝い、食材の提供、活動に向けて良いアイデア、運営資金の一部援助等、応援して下さい。まずは一度遊びに来てください。



②緑豊かな田原を楽しむ

(奥田進久、奥村博、谷秀夫、内藤壽、中西洋右、森川陽子、山本敏秀)

田原の地域資源を見つめ直し、恵まれた自然環境、里山、歴史と文化、活発なボランティア活動、地域のネットワークを活かした取組みとして、シイタケ栽培を軸にした里山保全と地域活性化推進事業を行う「田原シャングリラの会」を立ち上げ、田原縄文きのご祭などのイベントを開催し、田原地域の賑わいとコミュニティづくりを行います。



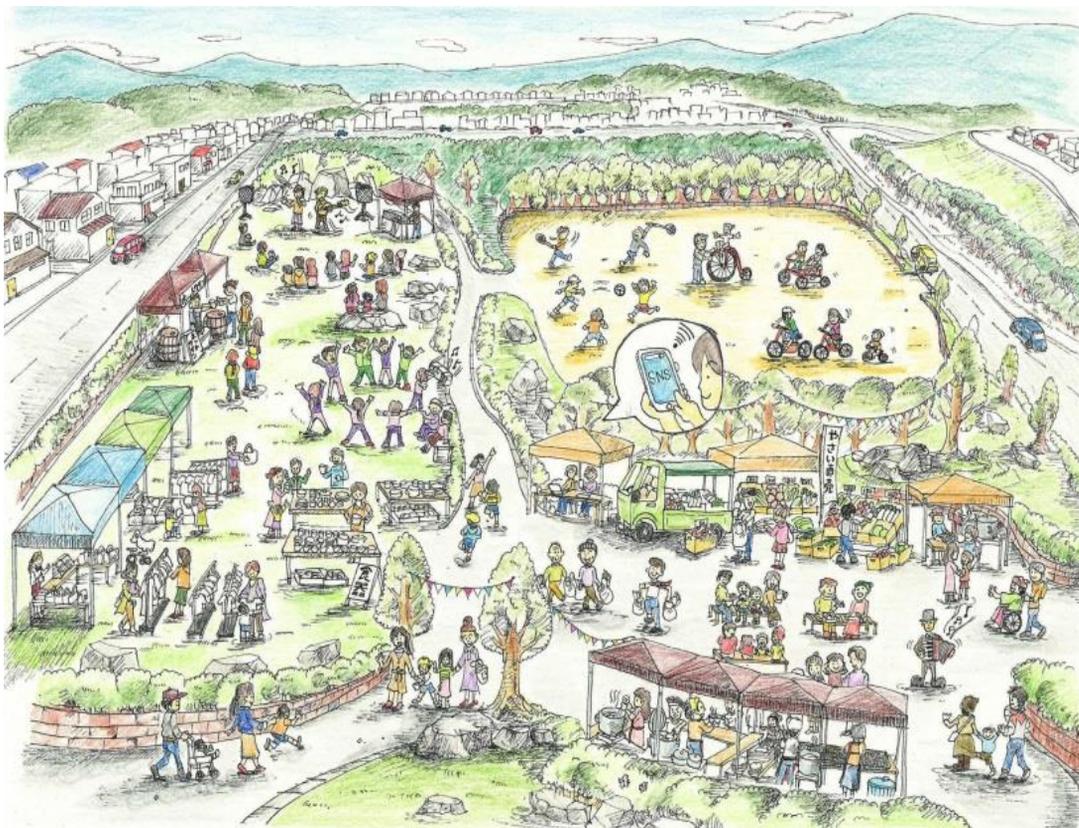
田原シャングリラの会は、シイタケ栽培を手がかりに、里山の再生と緑豊かな自然環境の保護に取り組み、地域活性化とコミュニティづくりに寄与します。



③楽しいイベント体験健康づくり

(旭恵美里、相良佐知子、西川益美、平松茂、寶谷敏男、前原園代、森田祥彦、安田成弘)

田原地域で行われている様々なイベントなどの情報発信を行う。その手法として、グリーンホール田原に「イベント情報掲示板」の設置、SNSを活用しての情報発信投稿サイト「たわら.net」を創設しイベントなどの活動が周知されることにより、参加したい人やお手伝いしたい人を繋ぎ、楽しいイベントが活性化されることにより、高齢者のお出かけの機会も増え、健康寿命の延伸にもつなげます。



田原でイベントがたくさん開催され、人々が集い田原の活性化に繋がりカタチになるプラットフォーム作りをめざします。皆で田原を盛り上げて行きませんか？





たわらの「わっ！」

平成31年3月25日

第8回田原活性化対策本部会議の参加者で記念撮影

「田原を良くしたい」そうした思いで立ち上がった公募委員18人は、「日々の暮らしのアンケート」をもとに、地域課題に向き合い田原地域の活性化に向けて議論を重ねてきました。

地域課題の「交通」については四條畷市地域公共交通会議に対し「持続可能な公共交通に向けての提言書」を提出し「買い物」「医療」については、消費を目的としない来訪者を増やし、田原地域の魅力を創出するための発表を第8回田原活性化対策本部会議で行いました。

平成31年3月31日で任期を満了した田原活性化対策本部委員は、ここで知り合った人と人が繋がり、「地域が主体となったまちづくり」に向けスタートしました。

4 これまでの成果

短期的施策の実施

田原支所業務の改善をめざし、来庁される人への迅速、的確な対応を趣旨に、IT端末を活用したテレビ電話を本庁と支所間で運用開始した。

また、地域と行政が情報共有を図り、相互に身近に感じられる関係となるよう、「たわら通信」を創刊。令和元年12月時点で10号まで発刊している。

「日々の暮らしのアンケート調査」及び地域懇談会で要望のあった「電子血圧計」と屋外駐車場の「防犯灯」を設置した。

さらに、戎公園内の見通しをよくして、安心して子ども達が遊べる公園にして欲しいという児童・生徒の保護者からの要望を受け、戎公園の中低木の剪定も行った。



平成29年7月
テレビ電話の運用開始



平成29年7月
「たわら通信」の創刊



平成29年7月
電子血圧計の設置



平成29年8月
防犯灯の設置

(剪定前)



(剪定後)



周辺道路から公園内の見通しが良くなり、子ども達が安心して遊べる公園になった。



平成31年2月戎公園の中低木の剪定

市民提案型イベントの創設

田原地域のふれあいや交流、賑わい等を創出していくことを目的に、既存のイベントの掛け合わせなどの異なる施策を関連付け相乗効果を得る「市民提案型イベント」を創設。

田原音楽祭（平成30年9月9日）

主催：田原音楽祭実行委員会
場所：グリーンホール田原
来場者数：約300人

「第8回田原音楽祭」と、ゴミの減量を目的とした「食器あるある市」、子どもの健全育成と地域コミュニティの推進を目的とする「多笑食堂」が共同開催。



オズの農村マルシェ（平成30年11月24日）

主 催：オズの農村マルシェ実行委員会

場 所：北谷公園

来場者数：約1,800人

「地域に身近な発見と驚き」をテーマに食・農・作家・音楽に関わる人と公園を訪れる人が自然の中で解放感溢れる1日を過ごせるよう企画



元気でるでるコンサート（平成31年1月26日）

主催：四條畷田原かんがるーKIDS

四條畷第3地域包括支援センターカラコロ体操

場所：グリーンホール田原

来場者数：約150人

かんがるーKIDSのコンサートとカラコロ体操が同時開催することにより、三世代の交流の場とすることを目的とし開催。地域の「キッチンカフェ f o o」も出店。



桃源郷田原七夕まつり（令和元年8月24日）

主催：桃源郷田原七夕まつり実行委員会
 場所：グリーンホール田原
 来場者数：約500人

地域の歴史や自然を大切にする気持ちを育て、夜空の観察を通し天文や天の川伝説について市民の関心を高めることを目的に企画され
 また、交野市のチアリーディングクラブも参加し、交流人口の増加に寄与した。



田原音楽祭（令和元年9月8日）

主催：田原音楽祭実行委員会
 場所：グリーンホール田原
 来場者数：約300人

第9回田原音楽祭と、昨年共同開催した「食器あるある市」に加え、田原活性化対策本部から生まれた、「たわら.net」による手作りバザーが加わり開催された。



第4章 任期満了後の取り組み

1 地域に根ざした様々な取り組み

任期満了した本部委員のそれぞれが、活性化本部会議で発表した事業の実現に向け田原地域で活動を開始。

①配食サービス・レストラン運営

地域に心の拠りどころや繋がりが持てる「交流・憩いの場」を作ることをめざし、グリーンホール田原の会議室やリユース市「食器あるある市」の休憩スペースを活用し、ママと子どもがホッと一息つく時間が過ごせる、ほっこりサロンの開催。

ほっこりサロン



開催日：平成31年2月21日
場 所：グリーンホール田原 会議室



開催日：平成31年3月1日開催
場 所：アカカベ田原台店前広場

②みどり豊かな田原を楽しむ

地域資源を生かした活動を開始。里山からシイタケの原木となる木を切り出し、シイタケ菌の駒を打った椀木を、イベントなどで販売を始める。また、令和元年11月には戎公園にて「田原さとやま収穫祭」を開催。

田原さとやま収穫祭（令和元年11月10日）

主催：田原シャングリラの会

場所：戎公園

来場者数：約400人



田原のめぐみ販売



縄文時代の家

③楽しいイベント体験健康づくり

田原地域で開催される、たくさんのイベントにより多くの人が訪れ賑わいが生まれるよう、「たわら.ネット (Facebook)」を開設。また、グリーンホール田原のロビーに「イベント情報掲示板」を設置し田原地域の情報発信を行っている。



イベント情報掲示板



2 スマートシティへの取り組み（地域課題の解決に向けて）

「地域（市民）が主体となったまちづくり」を委員と協働で取り組むと共に四條畷市（田原地域）の地域課題をAIやIoTの技術を取入れ解決するスマートシティの実現に向けた取り組みを目指す。

平成31年1月	スマートシティの実現に向けたニーズ提案書を国土交通省へ提出
平成31年3月	スマートシティモデル事業計画書を国土交通省に提出
令和元年5月	国土交通省スマートシティ推進パートナー（71団体）に選定される
令和元年6月	スマートモビリティチャレンジ推進協議会に入会
令和元年8月	内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省でスマートシティの取り組みを官民連携で加速するために設立した「スマートシティ官民連携プラットフォーム」へ参加
令和元年9月21日	令和元年度をスマートシティ元年と位置づけ「四條畷市スマートシティ推進フォーラム」を開催。
令和2年2月20日	「日本一前向き！」コンソーシアム設立総会を開催

四條畷市スマートシティ推進フォーラム（令和元年9月21日）

主催：四條畷市
 場所：グリーンホール田原
 来場者数：約200人

参画団体：地域ボランティア団体、(株)アカカベ、(株)ウフル、NECソリューションイノベーター(株)、関西電力(株)、近鉄ケーブルネットワーク(株)、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、イシイ(株)



↑ 第1部 プレゼンテーション
 ← 第2部 パネルディスカッション

参画企業による展示ブース



ドローン操縦体験
 (株)イシイ



デジタルサイネージ
 奈良先端大



自動給電システム
 関西電力(株)



歩行年齢測定・似てる度診断
 NECソリューションイノベーター(株)

スマートシティの実現に向け「日本一前向き！」コンソーシアムの設立

「日本一前向き！」コンソーシアム設立総会

日時：令和2年2月20日 午後6時

場所：グリーンホール田原

参加者数：80人

「日本一前向き！」コンソーシアム参画団体

田原地域子育てサロン カンガルーホップ、わたしのいえ・ほっこり、(株)アカカベ、(株)ウフル、NECソリューションイノベータ(株)、関西電力(株)、近鉄ケーブルネットワーク(株)、(株)グリーンファーム、ソフトバンク(株)、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、Y u M a k e 合同会社、医療法人 和幸会、四條畷市

オブザーバー

区長、自治会長、土地改良区、田原ライフセーバーズ、田原台・さつきヶ丘地区福祉委員会、四條畷市緑化花の里親会、四條畷市社会福協議会、元田原活性化対策本部委員、奈良交通(株)、内外電気(株)、総務省近畿総合通信局、経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、大阪府スマートシティ戦略準備室、国立研究開発法人情報通信研究機構、独立行政法人都市再生機構



「日本一前向き！」コンソーシアム設立総会参加者

終わりに

平成31年3月31日で任期を満了した18人の元田原活性化対策本部委員は、それぞれが会議で発表した新たな賑わい創出に向けての活動を行っています。

交通については、平成30年7月に「持続可能な公共交通に向けての提言書」が出された後、医療機関による病院への無料送迎バスの運行が開始されました。

行政は、元田原活性化対策本部委員の活動に関する手続きや助言などの支援を行うと共に、地域課題の解決に向け、AI, IoTなどの新技術を活用し解決する国土交通省「スマートシティモデル事業」に公募し、「スマートシティ推進パートナー」に選定されました。

田原地域では、スマートシティの理解を深めるために「四條畷市スマートシティ推進フォーラム」(R1.9.21、参加者約200人)を開催しました。

令和2年2月20日には、四條畷市が推進するスマートシティへの取り組みに賛同する、地域団体、企業、大学等が参画し「日本一前向き！」コンソーシアム設立総会を開催し、地域課題の解消に向け地域住民と共に取り組みを始めます。

これからは、第8回田原活性化対策本部会議で本部委員が発表した未来予想図にAI, IoTの新技術が溶け込み、地域に新たな賑わいが生まれ、田原地域の活性化を推進します。

参考資料

第8回田原活性化本部会議 プレゼンテーション資料

①配食サービス、レストラン運営	1
岩城令子、南佐幸子	
②みどり豊かな田原を楽しむ	11
奥田進久、奥村博、谷秀夫、内藤壽、中西洋右、森川陽子、山本敏秀	
③楽しいイベント健康づくり	
・イベントでたわらを活性化	17
・四條畷たわら.net	27
旭恵美里、相良佐知子、西川益美、平松茂、寶谷敏男、前原園代、森田祥彦、安田成弘	
四條畷市田原活性化検討委員会設置要綱	39
四條畷市田原活性化対策本部設置要綱	41
田原活性化対策本部委員募集要項	43
田原活性化対策本部委員任期を終えて本部委員の感想	45
日々の暮らしに関するアンケート調査結果について	65
持続可能な公共交通に向けての提言	93
スマートシティの実現に向けたニーズ提案書	101
スマートシティモデル事業企画提案書（概要版）	103
スマートシティ推進パートナー（国土交通省）抜粋	105